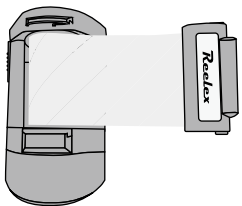


通園バス園児置き去り防止テープリール チャイルドチェックリール

取扱説明書



目次

- 安全上の注意
- 製品構成
- 製品の特長
- 使用方法
- お手入れ方法
- 保管方法
- 製品仕様

このたびは、**Reelexチャイルドチェックリール**をお求めいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、通園バスにおいて園児などの降車を目視により確認する事をサポートする製品です。それ以外の用途としては使用しないでください。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

警告・注意に従わない場合、誤ったご使用をされた場合の事故、故障、損害等につきましては、弊社では一切その責任及び補償を負いません。いたずらや盗難による損害は補償致しません。

1. 安全上の注意

この取扱説明書に示されている **▲ 警告**・**⚠ 注意** マークは、取り付け・取り扱いに関する安全上の注意事項ですので必ず厳守してください。

表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

▲ 警告：指示を守らないと死亡または重傷、または重度の損害を負う可能性がある危険性を示します。

⚠ 注意：指示を守らないと軽傷、中程度の損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性がある危険性を示します。

▲ 警告

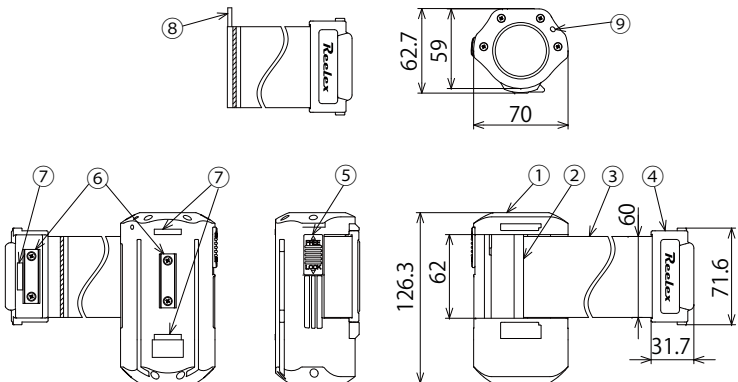
- 使用温度範囲以外の場所では使用しないでください。故障、破損、不具合の原因となります。
- 使用温度範囲以内であっても、炎天下や寒冷地に駐車していた場合など、本製品が極端に高温 / 低温になるときは触れないでください。やけどや凍傷の原因となります。
- 分解、改造、加工はおやめください。事故、故障、破損、不具合の原因となります。
- 落下させたり、強い衝撃を加えたりしないでください。事故、故障、破損、不具合の原因となります。
- マグネットは強力ですのでペースメーカー、電子機器、時計、ICカード等には近づけないでください。また、持ち運びには注意してください。
- ご使用の際には子供の手の届かないところでご使用ください。おもわぬ怪我をする恐れがあります。
- 子供の手の届く場所には置かないでください。
- 本製品は園児の置き去りを完全に防止するものではありません。

- 取り付け、取り外しの際は指を挟まないでください。怪我をする恐れがあります。
- テープをねじって使用しないでください。テープの破損、事故、不具合の原因となります。
- テープに亀裂が確認された場合はテープ破断の恐れがあり危険ですので、使用を中止してください。

⚠ 注意

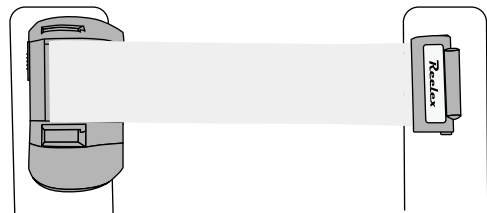
- 油及び有機溶剤の近くで使用しないでください。故障、破損、不具合の原因となります。
- 本体に水がかかる場所では、上下逆さに取り付けて使用しないでください。内部に水が入り、故障、破損、不具合の原因となります。
- スベリ止めゴムをはがさないでください。はがすと本体・ホルダーがずれやすくなります。
- マグネットを使用した取り付けは長期取り付けたままにしておく、気象条件等により、塗装面の固着や色褪せ跡が残り、塗装を痛める恐れがあります。

2. 製品構成



No.	品名	No.	品名	No.	品名
①	本体	④	ホルダー	⑦	スベリ止めゴム
②	ドラム	⑤	ストッパー	⑧	ストッパーピン
③	テープ	⑥	マグネット	⑨	ストラップホルダー

3. 製品の特長



- テープは任意の位置で使用でき、最大 6m まで使用可能です。
- 本製品はマグネットにより簡単に設置ができます。
- 本製品を通園バスの車両前方の鉄面に取り付け、テープを最後尾まで引き出すことで、確認者は先頭から最後尾まで園児の降車状況を確認する動作につながります。
- 降車確認の実施有無を車外へ周知でき、車外からも視覚的に安全を確認することができます。

4. 使用方法

<設置方法>

- ① 本体を鉄平面に設置し、図 1 の方向にテープを引き出す。
- ② ホルダーの中央部を持って、ゆっくりとテープを引き出しながら園児の降車を確認する。
- ③ ホルダーを鉄平面に設置する。
- ④ 必要に応じてストッパーでテープのロックが可能。

図 1

① 設置 → ② 引き出す → ③ 取り付け

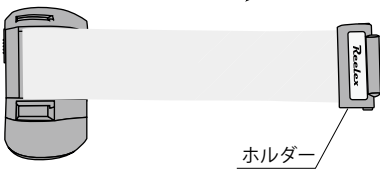
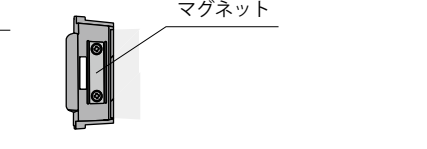


図 2



図 3



▲ 警告

- 車内に人がいる状態では、使用しないでください。
- 本製品を取り付けた状態のまま走行しないでください。
- 本体およびテープは車内の平らな鉄板部に取り付けてください。外れた際にケガをする恐れがあるほか、本体やテープの故障や車両の損傷につながる恐れがあります。

⚠ 注意

- テープを引き出す際、本体取付面の板厚が薄い場合や滑る場合は、マグネットの保持力が弱くなるため、本体がずれたり落下する恐れがあります。
- テープを引き出す際、それ以上引けない位置より更に引っ張らないでください。故障の原因になります。

<巻き取り方法>

- ストッパーのロックを解除する。
- ホルダーを取り外し、ホルダーの中央部を持ってゆっくりと巻き取る。(4-1 参照)
- ホルダーを本体のホルダー収納部に納める。

▲ 警告

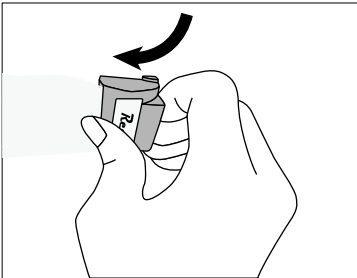
- 危険ですので、手を離したり、一気に巻き取ったりしないでください。

⚠ 注意

- 本体・ホルダーが確実に固定されたことを確認してください。
- マグネットを使用する前に、マグネットと設置面の汚れを落としてください。凹凸面及び曲面には設置しないでください。落下し怪我をする恐れがあります。マグネットですので、ガラス面、樹脂面、アルミ面（非鉄金属）には取り付けできません。
- 雨でテープがぬれた場合、巻き取りが弱くなることがありますが、ご使用上は問題ありません。
- テープの巻き始めは若干巻き取り跡が付きますが、ご使用上は問題ありません。

4-1. 製品の取り外し方法

親指でホルダー中央部を押さえ、横から指を掛けて取り外す。



▲ 警告

- ホルダーを取り外す際は、テープを引っ張らないでください。事故、故障、破損、不具合の原因となります。
- 滑らせると車両側設置面を傷つける恐れがあります。
- 指を挟むとケガをする恐れがあります。

本体側面をしっかりと持ち、本体下側を矢印の向きに引き上げるように取り外す。



5. お手入れ方法

製品が汚れた場合は、以下の方法でお手入れしてください。

1. 真水でぬらし固くしぼったタオルでやさしく拭き取ってください。
2. 残った水分を乾いた布でやさしく拭き取ってください。

⚠

注意

- ・タワシ、みがき粉、油脂類及び有機溶剤の使用は避けてください。
故障、破損、不具合の原因となります。
- ・水の中に入れたり、水洗いしないでください。
故障、破損、不具合の原因となります。

6. 保管方法

- ・テープを巻き取り、ホルダーを収納した状態で保管してください。
- ・子供の手の届くところには保管しないでください。
- ・水のかかる場所、直射日光のあたる場所、高温多湿になる場所、ホコリの多い場所では保管しないでください。
- ・運転に支障がある場所や運転中の急制動時に人や車両に当たる恐れのある場所、子供の手の届く場所には保管しないでください。

7. 製品仕様

型 式	BRS-606XEJ	
名 称	チャイルドチェックリール	
品 番	139-A0269	
長 さ	6m	
テープデザイン	 園児降車確認済み 	
質 量	340 g	
使用場所	車内	
使用温度範囲	－10℃～ 70℃	
保存温度範囲	－10℃～ 70℃	
材質	本体	ABS、POM、ネオジム磁石、鉄、ゴム
	テープ ASSY	PE、ABS、ネオジム磁石、鉄、ステンレス、ゴム

Reelex 中発販売株式会社

URL <http://www.chuhan.co.jp/>

本社 リール営業部 〒457-0066 名古屋市南区鳴尾 2 丁目 114 番地 TEL：052-614-3664 FAX：052-614-3366	関東営業所 〒338-0002 さいたま市中央区下落合 7-4-3 RHK ビル 201 TEL：048-711-1927 FAX：048-711-1936
中部営業所 〒457-0066 名古屋市南区鳴尾 2 丁目 114 番地 TEL：052-614-3652 FAX：052-614-3366	関西営業所 〒564-0044 大阪府吹田市南金田 1 丁目 11-8 TEL：06-6385-2228 FAX：06-6338-0521

本取扱説明書は 2022 年 12 月現在のものです。
本製品のデザイン、仕様は予告なしに変更する場合があります。